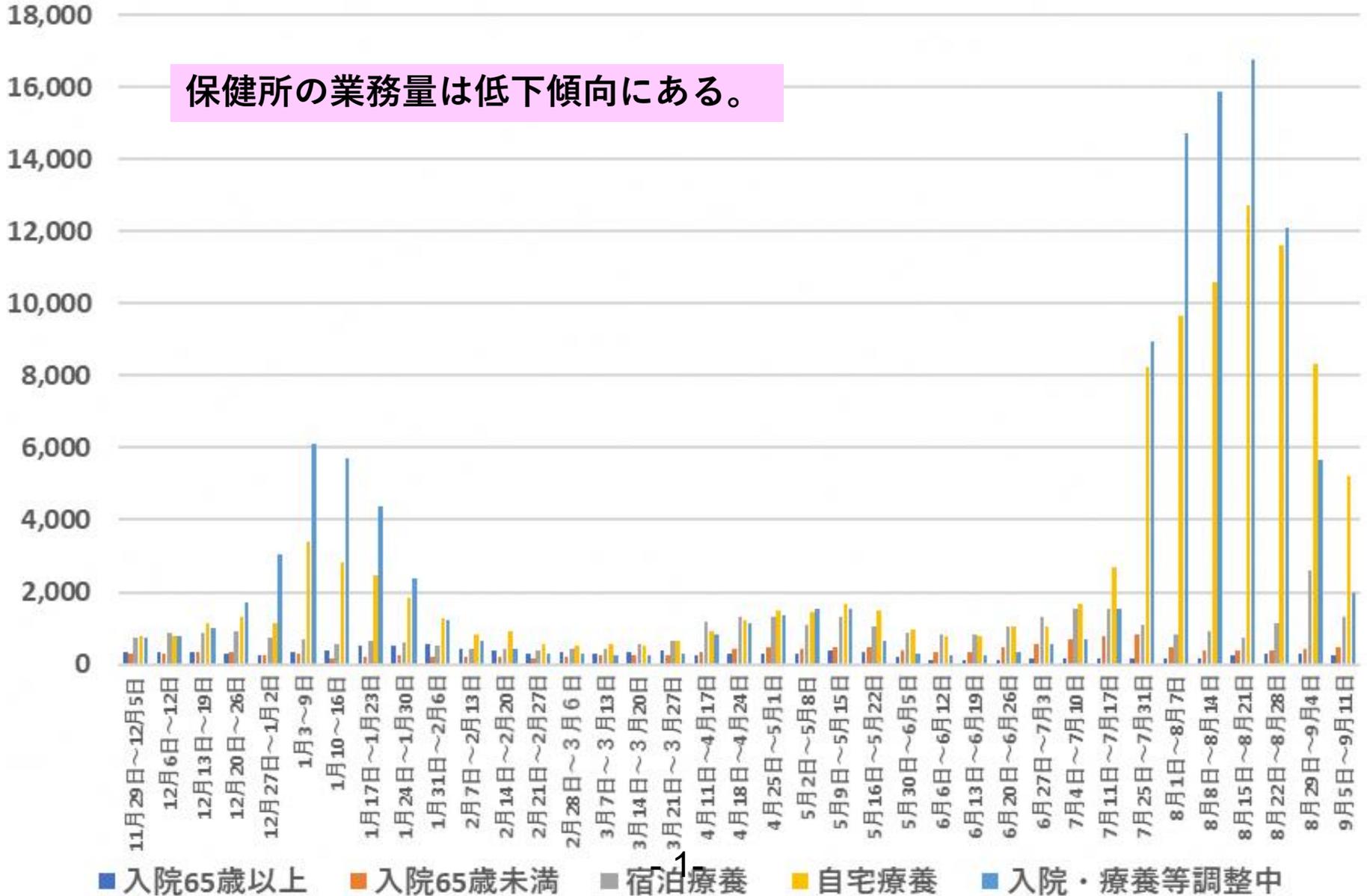


東京都内の陽性者の調整状況（時系列）

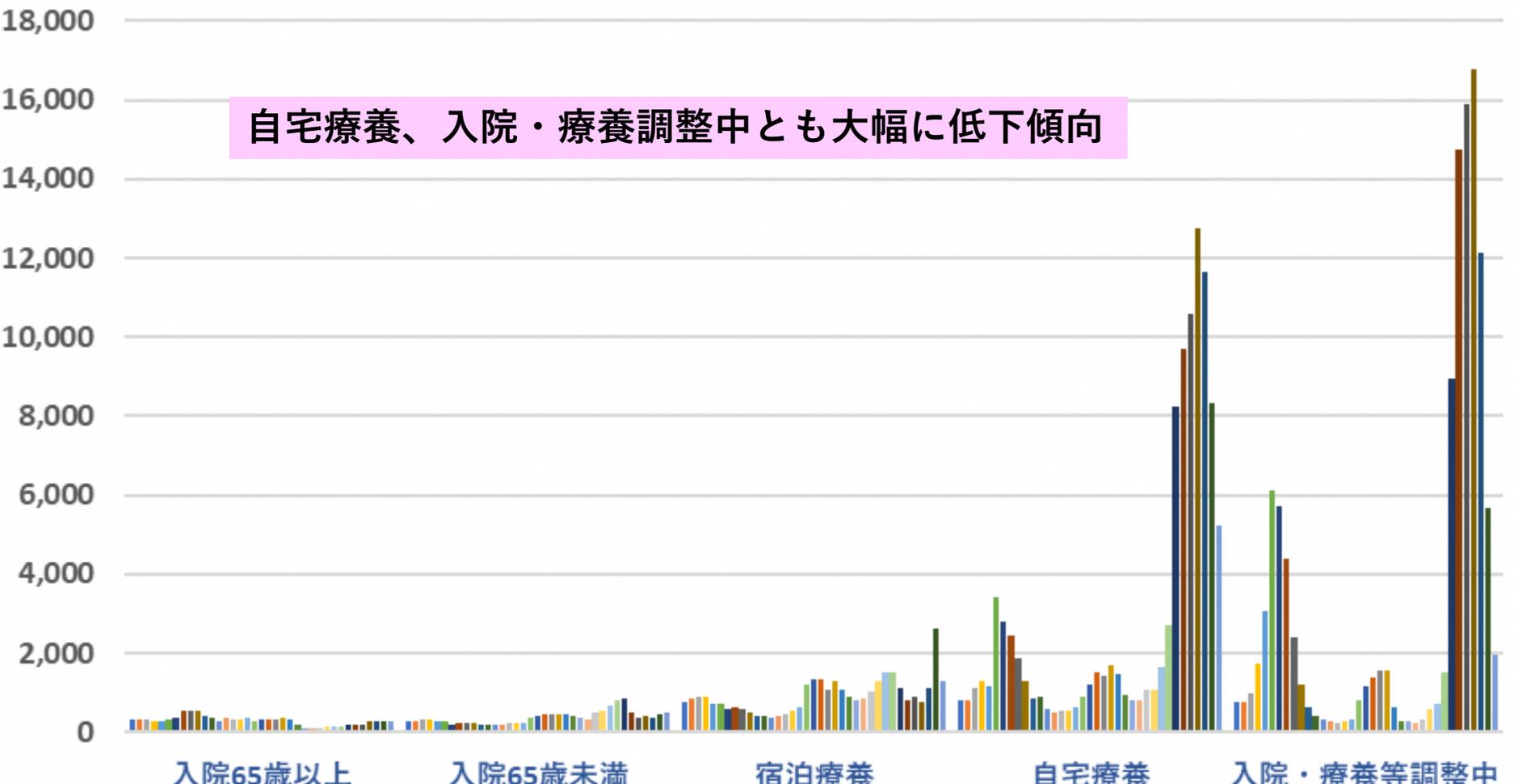
資料 3 - 6

保健所の業務量は低下傾向にある。



東京都内の陽性者の調整状況（処遇別）

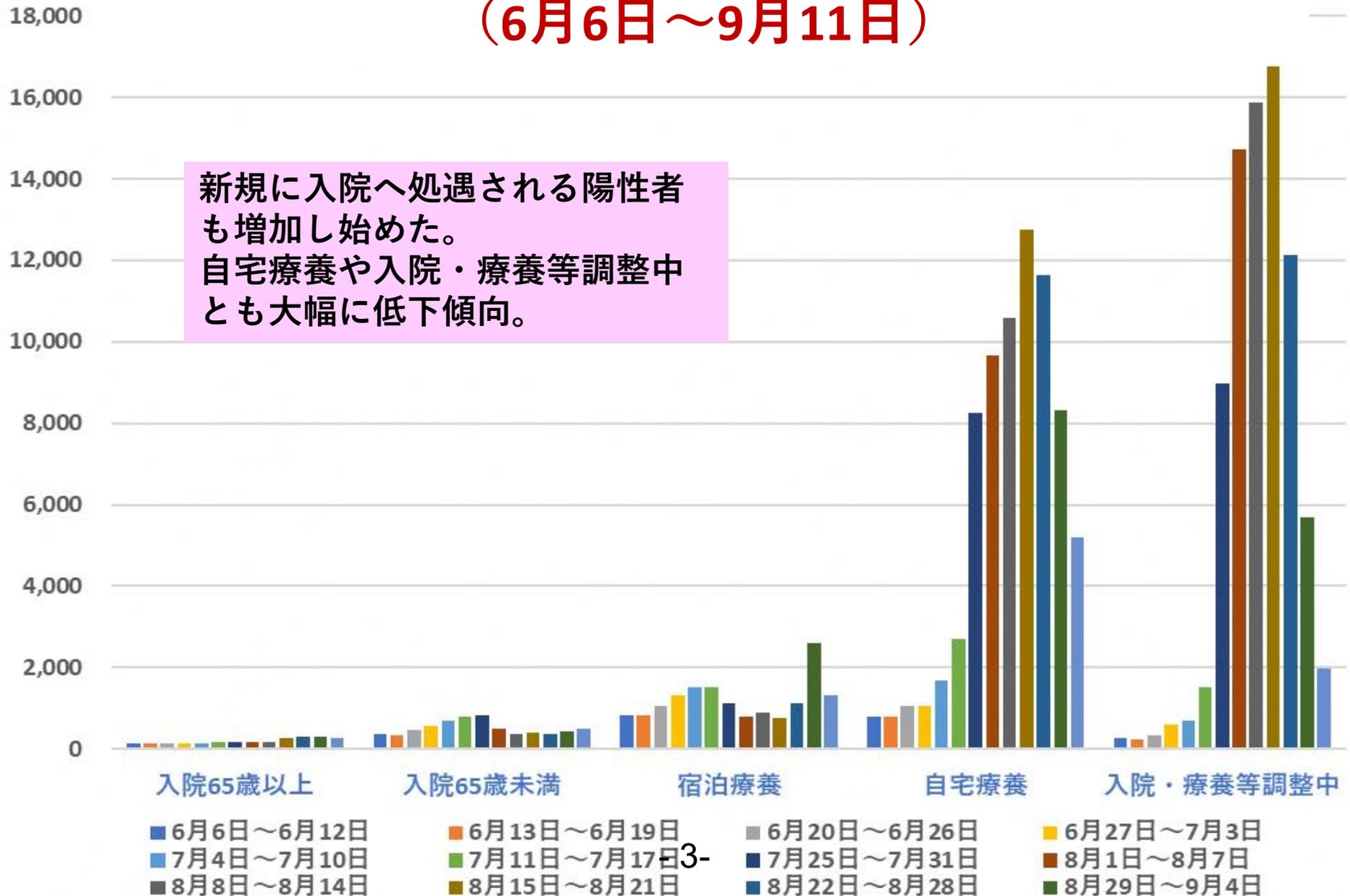
自宅療養、入院・療養調整中とも大幅に低下傾向



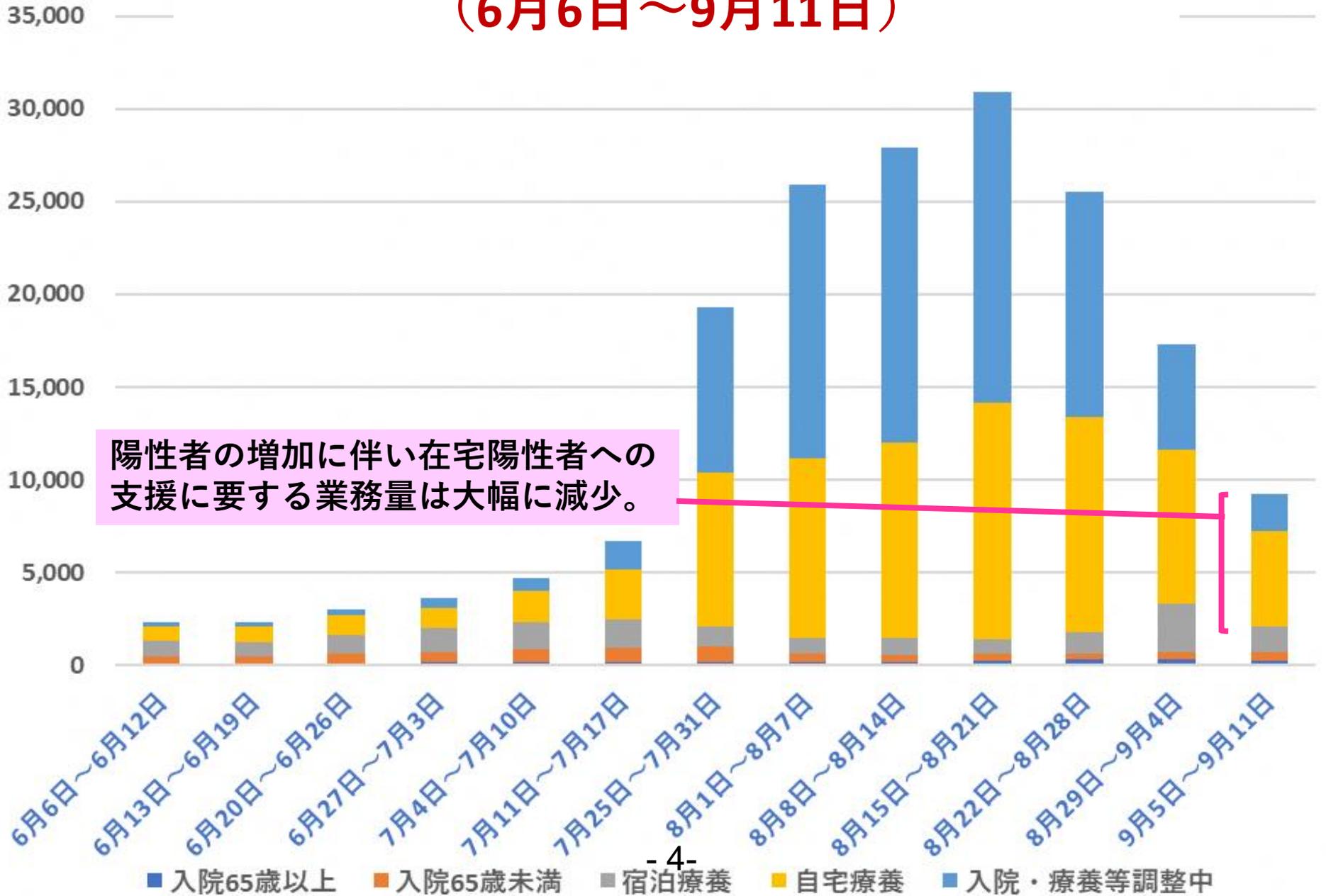
- 11月29日～12月5日
- 12月6日～12日
- 12月13日～19日
- 12月20日～26日
- 12月27日～1月2日
- 1月3日～9日
- 1月10日～16日
- 1月17日～1月23日
- 1月24日～1月30日
- 1月31日～2月6日
- 2月7日～2月13日
- 2月14日～2月20日
- 2月21日～2月27日
- 2月28日～3月6日
- 3月7日～3月13日
- 3月14日～3月20日
- 3月21日～3月27日
- 4月11日～4月17日
- 4月18日～4月24日
- 4月25日～5月1日
- 5月2日～5月8日
- 5月9日～5月15日
- 5月16日～5月22日
- 5月30日～6月5日
- 6月6日～6月12日
- 6月13日～6月19日
- 6月20日～6月26日
- 6月27日～7月3日
- 7月4日～7月10日
- 7月11日～7月17日
- 7月25日～7月31日
- 8月1日～8月7日
- 8月8日～8月14日
- 8月15日～8月21日
- 8月22日～8月28日
- 8月29日～9月4日
- 9月5日～9月11日

東京都内の陽性者の調整状況（処遇別） （6月6日～9月11日）

新規に入院へ処遇される陽性者も増加し始めた。
自宅療養や入院・療養等調整中とも大幅に低下傾向。

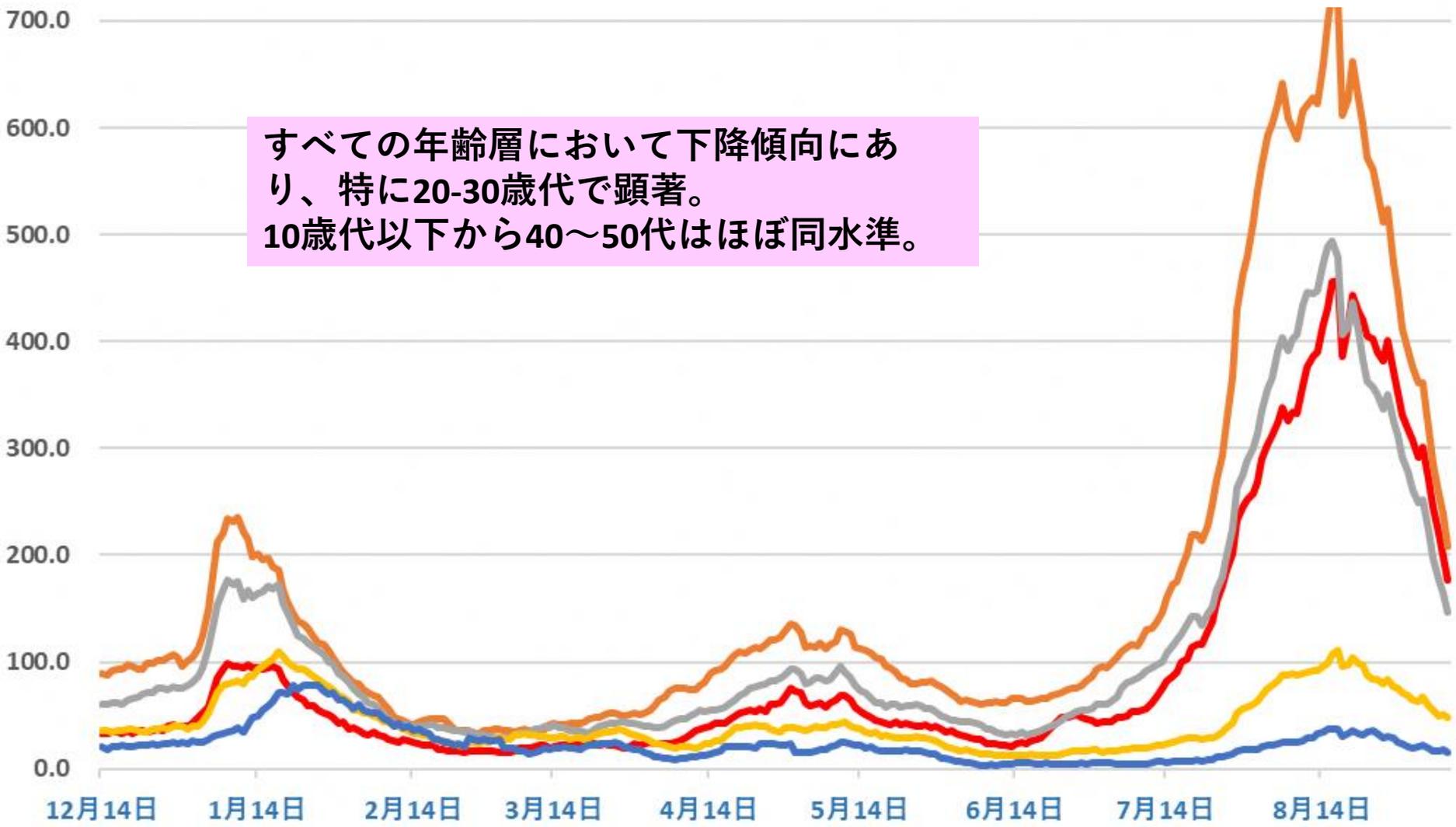


東京都内の陽性者の調整状況（時系列） （6月6日～9月11日）

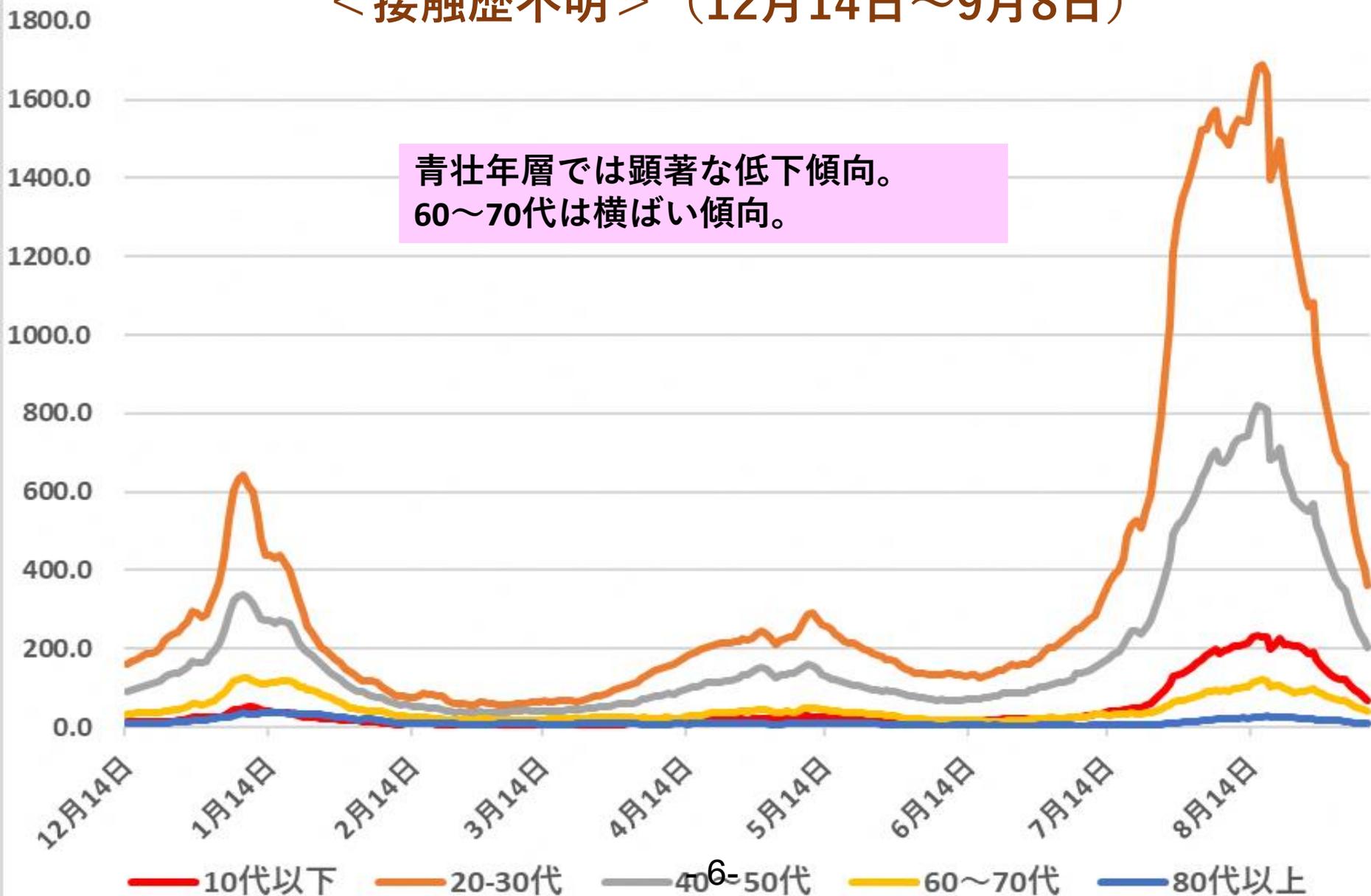


東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 < 接触歴あり >（12月14日～9月8日）

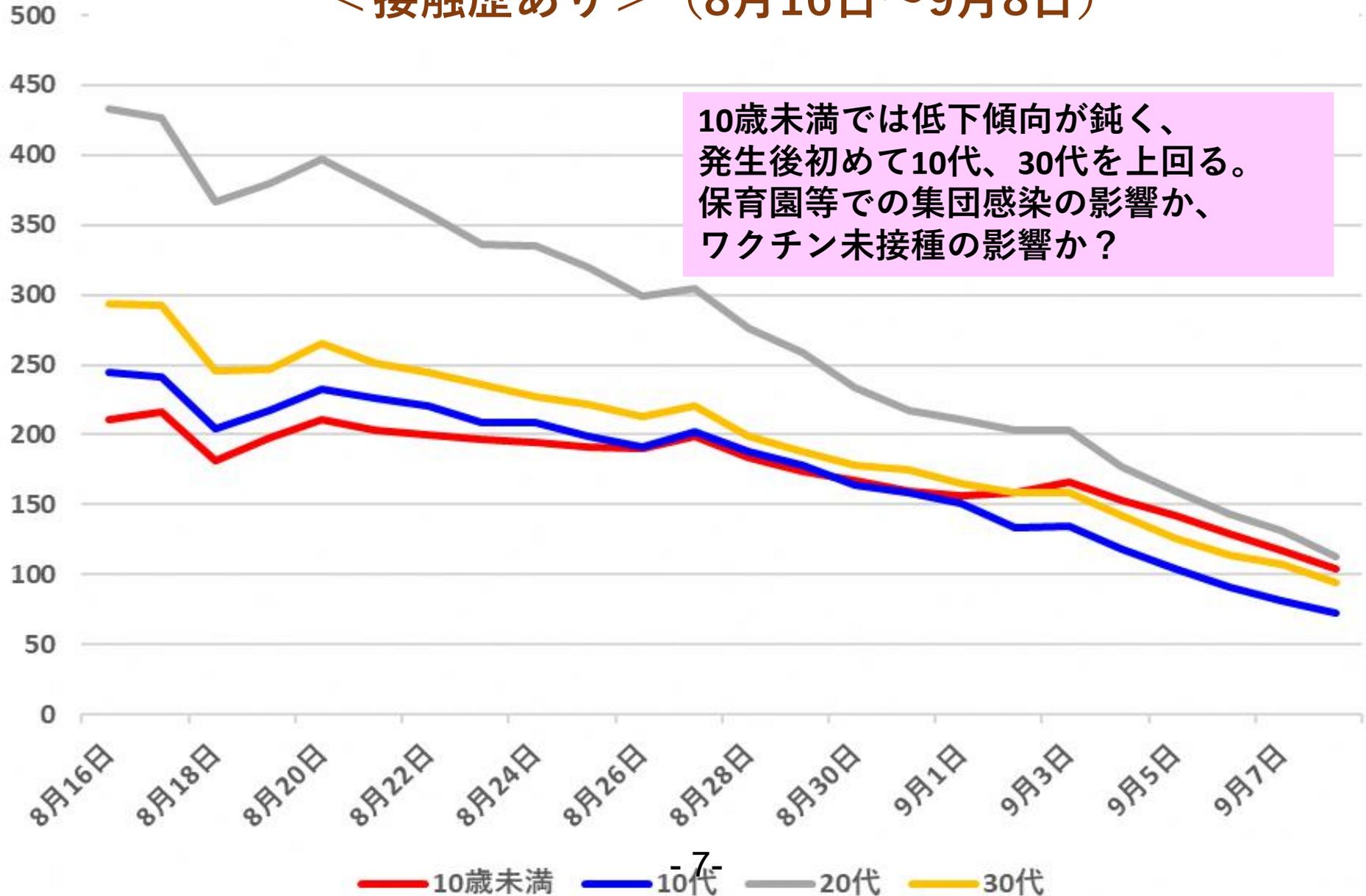
すべての年齢層において下降傾向にあり、特に20-30歳代で顕著。
10歳代以下から40～50代はほぼ同水準。



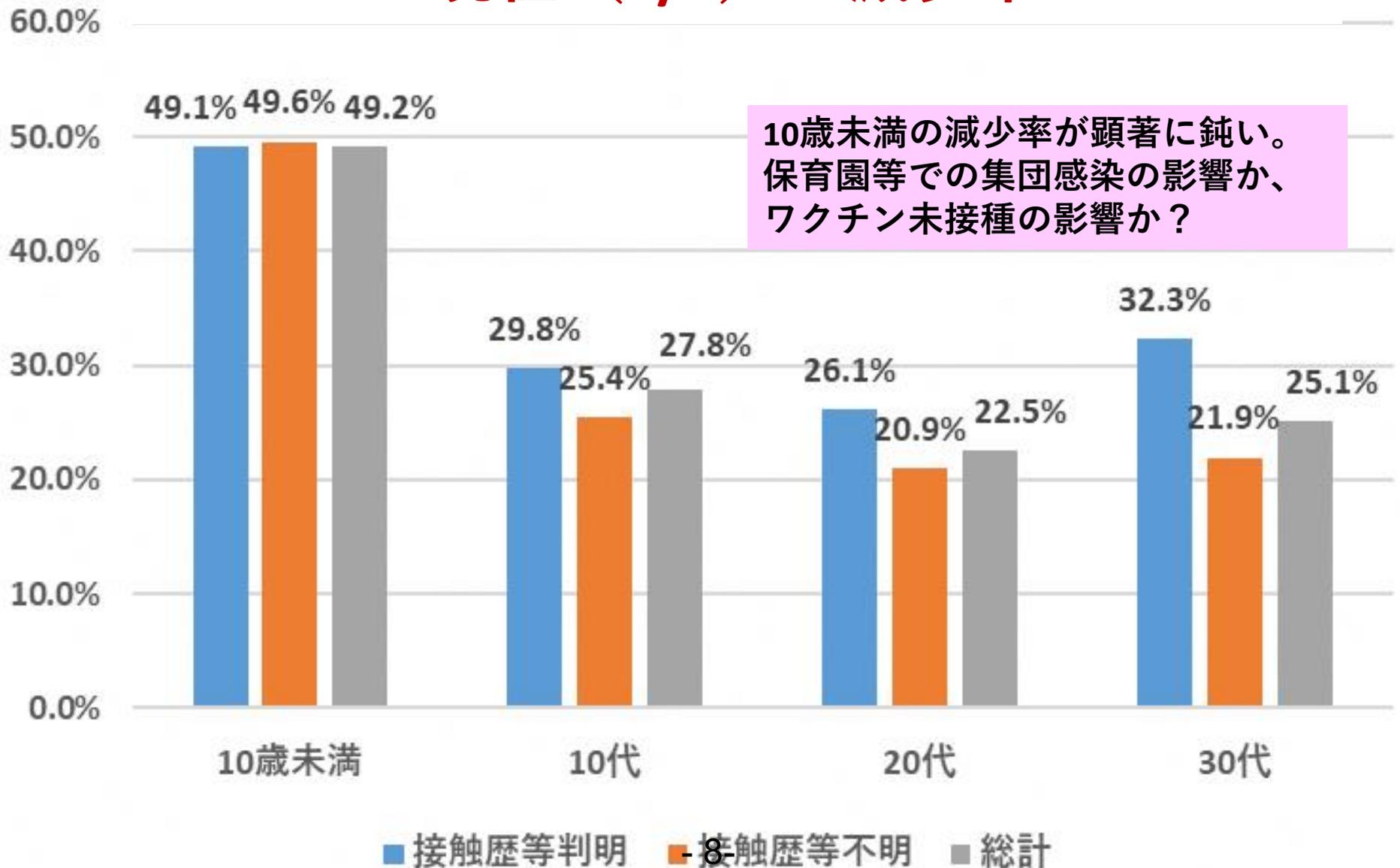
東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 ＜接触歴不明＞（12月14日～9月8日）



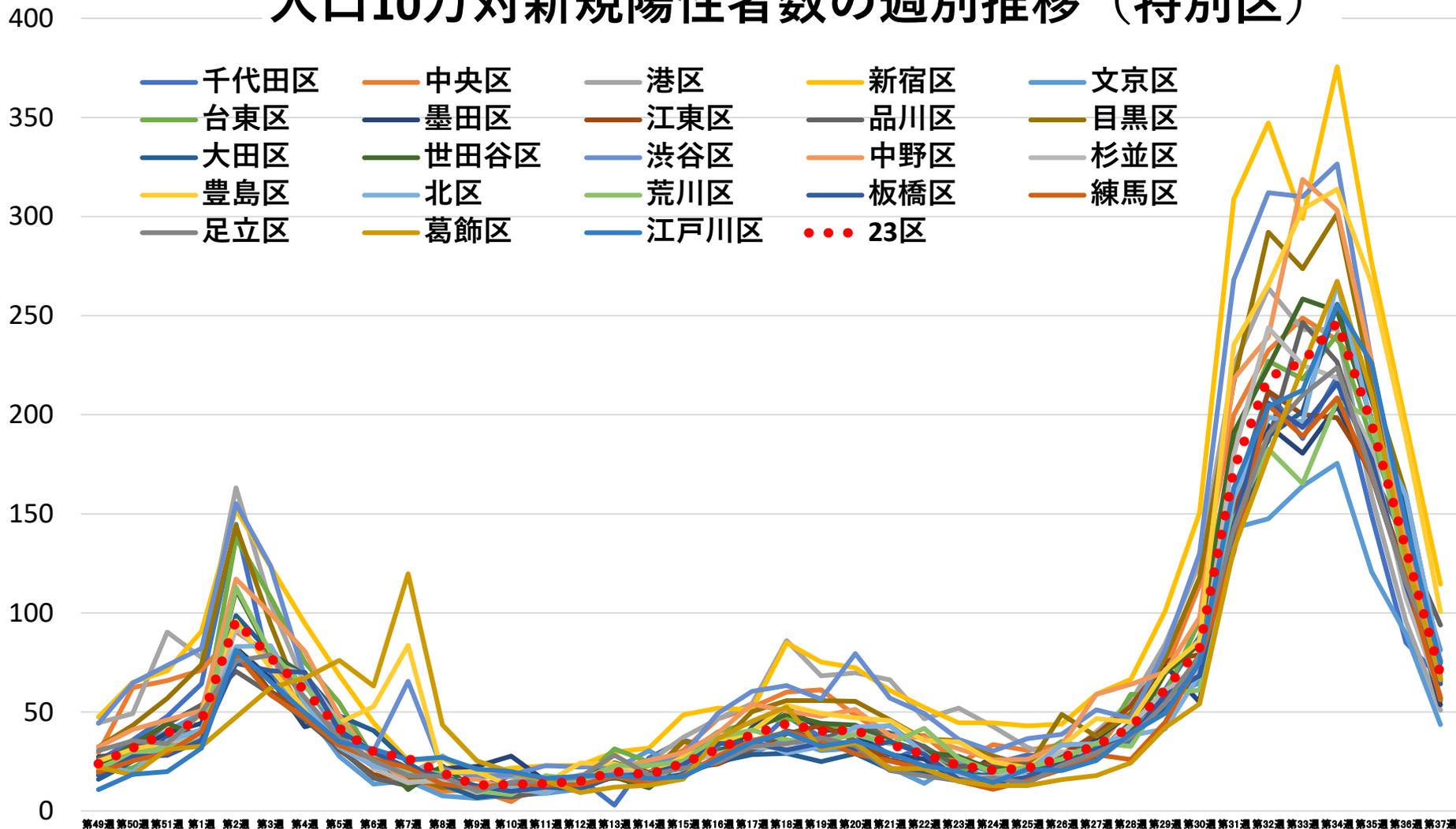
東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 ＜接触歴あり＞（8月16日～9月8日）



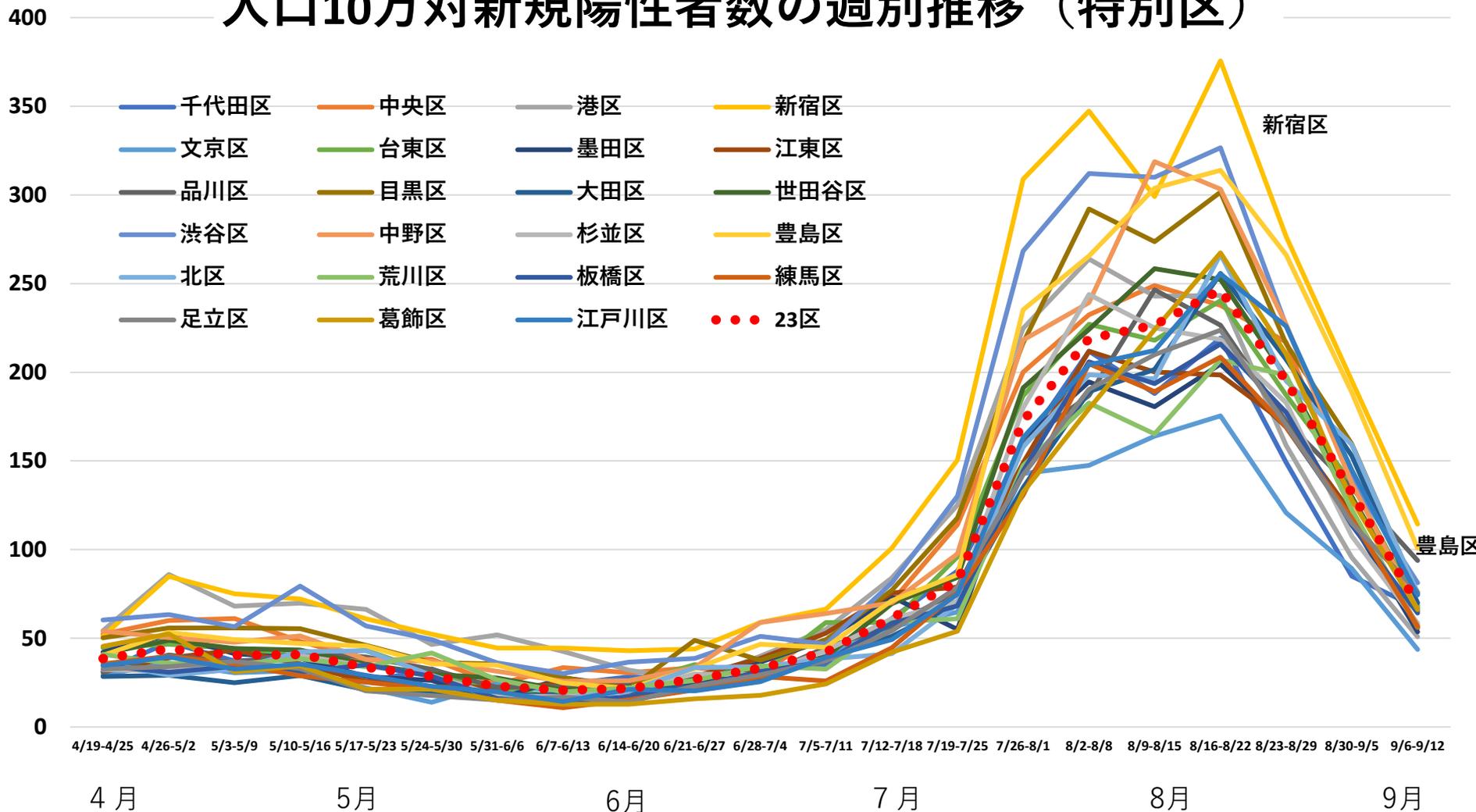
第5波ピーク時（8/16）から 現在（9/8）の減少率



人口10万対新規陽性者数の週別推移（特別区）

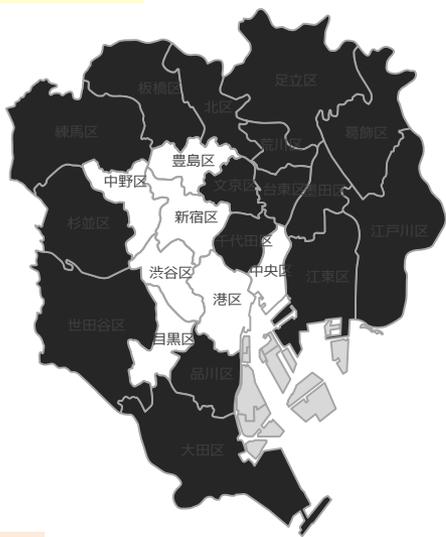


人口10万対新規陽性者数の週別推移（特別区）

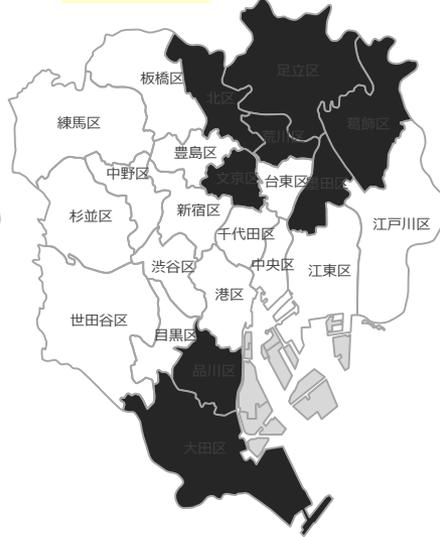


区別人口10万対の新規陽性者数地図 第31～37週(7/26～9/12)

第31週



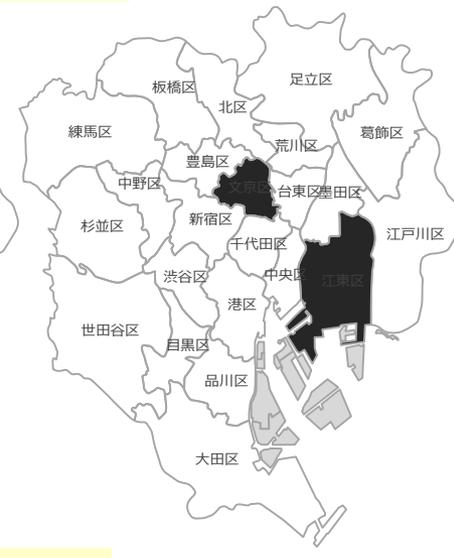
第32週



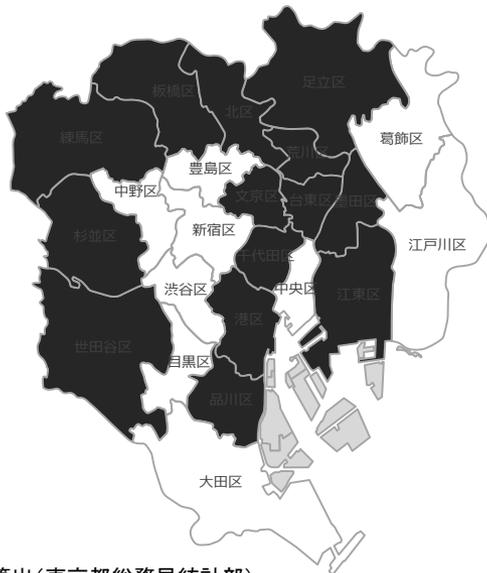
第33週



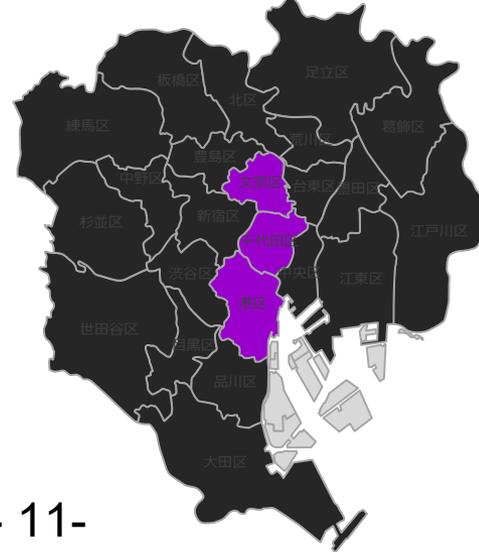
第34週



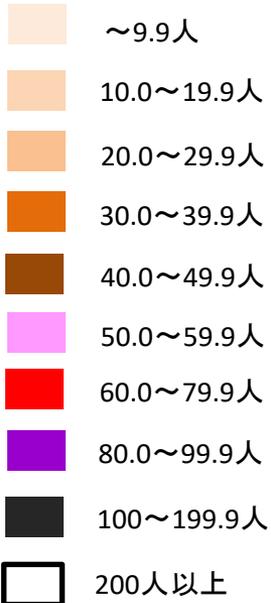
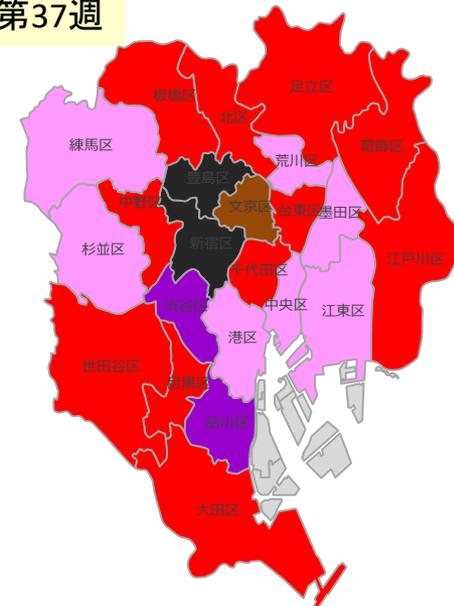
第35週



第36週



第37週



新型コロナウイルス感染症発生届による ロナプリーブ[®]投与条件該当者に関する分析

2021年9月15日

北区保健所

Supported by 帝京大学北区保健所支援チーム

データの基本情報

期間：2021年7月1日（木）～8月19日（木）

人数：3,772人 ※投与対象外の12歳未満を除く

男性 2,131人（56.5%） 女性 1,641人（43.5%）

情報：発生届による情報

- ・北区保健所に届出があった発生届

（区内医療機関による報告、他の自治体の陽性者を含む）

- ・北区保健所に転送された発生届による北区民の情報

重症化リスク因子の保有状況

	男性 (n=2,131)		女性 (n=1,641)		合計 (n=3,772)	
50歳以上	359	16.8%	313	19.1%	672	17.8%
50歳以上で疾病と肥満リスク無	236	11.1%	220	13.4%	456	12.1%
肥満 (BMI 30kg/m ² 以上)	26	1.2%	13	0.8%	39	1.0%
心血管疾患 (高血圧含む)	116	5.4%	78	4.8%	194	5.1%
慢性肺疾患 (喘息を含む) *	49	2.3%	38	2.3%	87	2.3%
糖尿病	55	2.6%	23	1.4%	78	2.1%
慢性腎生涯 (透析を含む)	6	0.3%	11	0.7%	17	0.5%
慢性肝疾患	4	0.2%	2	0.1%	6	0.2%
免疫抑制状態	4	0.2%	0	0.0%	4	0.1%
悪性腫瘍	10	0.5%	12	0.7%	22	0.6%
重症化リスク上記少なくとも 1つ以上あり	452	21.2%	363	22.1%	815	21.6%

* 小児喘息を除く

- ・重症リスクのある陽性者は2割程度
- ・そのうち約半数は50歳以上の単独リスク

性別の重症度と無症状者

	男性 (n=2,131)		女性 (n=1,641)		合計 (n=3,772)	
軽症	1235	57.9%	983	59.9%	2218	58.8%
中等	5	0.2%	2	0.1%	7	0.2%
中等症Ⅰ	59	2.8%	26	1.6%	85	2.3%
中等症Ⅱ	21	1.0%	10	0.6%	31	0.8%
重症	2	0.1%	3	0.2%	5	0.1%
情報なし	810	38.0%	617	37.6%	1427	37.8%
無症状	150	7.0%	132	8.0%	282	7.5%

※ 無症状者には軽症の者を一部含む

・ 軽症者は6割程度

症状の発現有無と発症から診断の期間 (性別)

	男性 (n=2,131)		女性 (n=1,641)		合計 (n=3,772)	
	n	%	n	%	n	%
無症状	150	7.0%	132	8.0%	282	7.5%
発症5日以内	1497	70.2%	1121	68.3%	2620	69.4%
発症6日以上	187	8.8%	135	8.2%	322	8.5%
発症日不明	297	13.9%	253	15.4%	550	14.6%

発症7日以内での治療開始が実務上可能な5日以内に届け出られる陽性者は7割程度

重症化リスク有無別 重症度

	重症化リスク一つ以上持つ						重症化リスクをひとつも持たない					
	男性 (n=452)		女性 (n=363)		合計 (n=815)		男性 (n=1679)		女性 (n=1278)		合計 (n=2957)	
軽症	242	53.5%	205	56.5%	447	54.8%	993	59.1%	778	60.9%	1771	59.9%
中等	4	0.9%	2	0.5%	6	0.7%	1	0.1%	0	0.0%	1	0.0%
中等症I	29	6.4%	12	3.3%	41	5.0%	30	1.8%	14	1.1%	44	1.5%
中等症II	15	3.3%	9	2.5%	24	2.9%	6	0.4%	1	0.1%	7	0.2%
重症	1	0.2%	3	0.8%	4	0.5%	1	0.1%	0	0.0%	1	0.0%
情報なし	161	35.6%	132	36.3%	293	35.9%	648	38.6%	485	37.9%	1134	38.3%
無症状	42	9.3%	38	10.4%	80	9.8%	108	6.4%	94	7.4%	202	6.8%

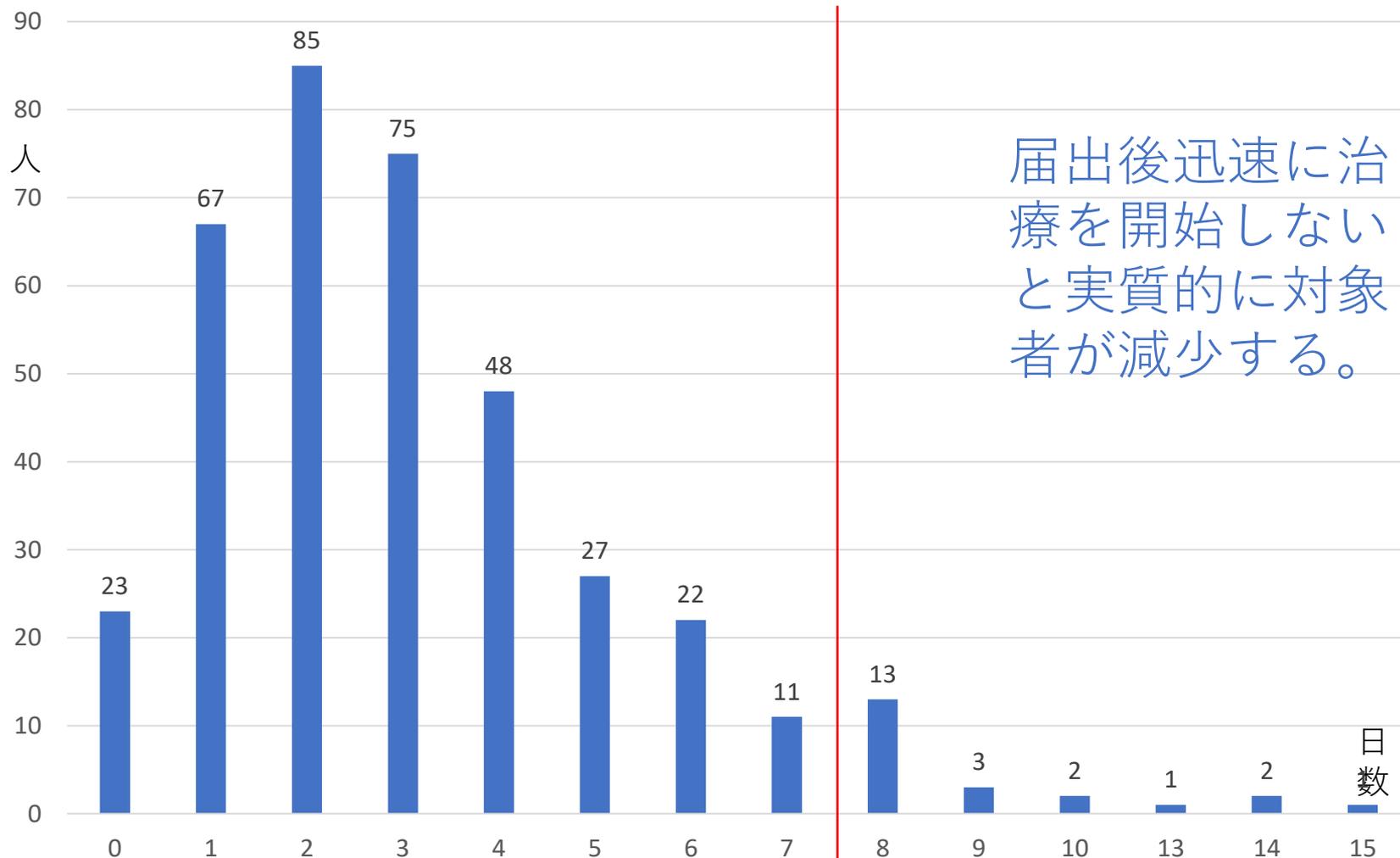
※ 無症状者には軽症者を含む

重症化リスク因子を少なくとも一つ有する陽性者の 症状発現から診断までの日数

		男性 (n=2,131)		女性 (n=1,641)		合計 (n=3,772)	
リスクあり	無症状	42	2.0%	38	2.3%	80	2.1%
	発症5日以内	302	14.2%	241	14.7%	544	14.4%
	発症6日以上	53	2.5%	39	2.4%	92	2.4%
リスクなし	無症状	108	5.1%	94	5.7%	202	5.4%
	発症5日以内	1195	56.1%	880	53.6%	2076	55.0%
	発症6日以上	134	6.3%	96	5.8%	230	6.1%

表には発症日不明の者を除く

重症化リスク因子が1つ以上あり、軽症の陽性者 発症から診断までの日数別人数 (n=380)



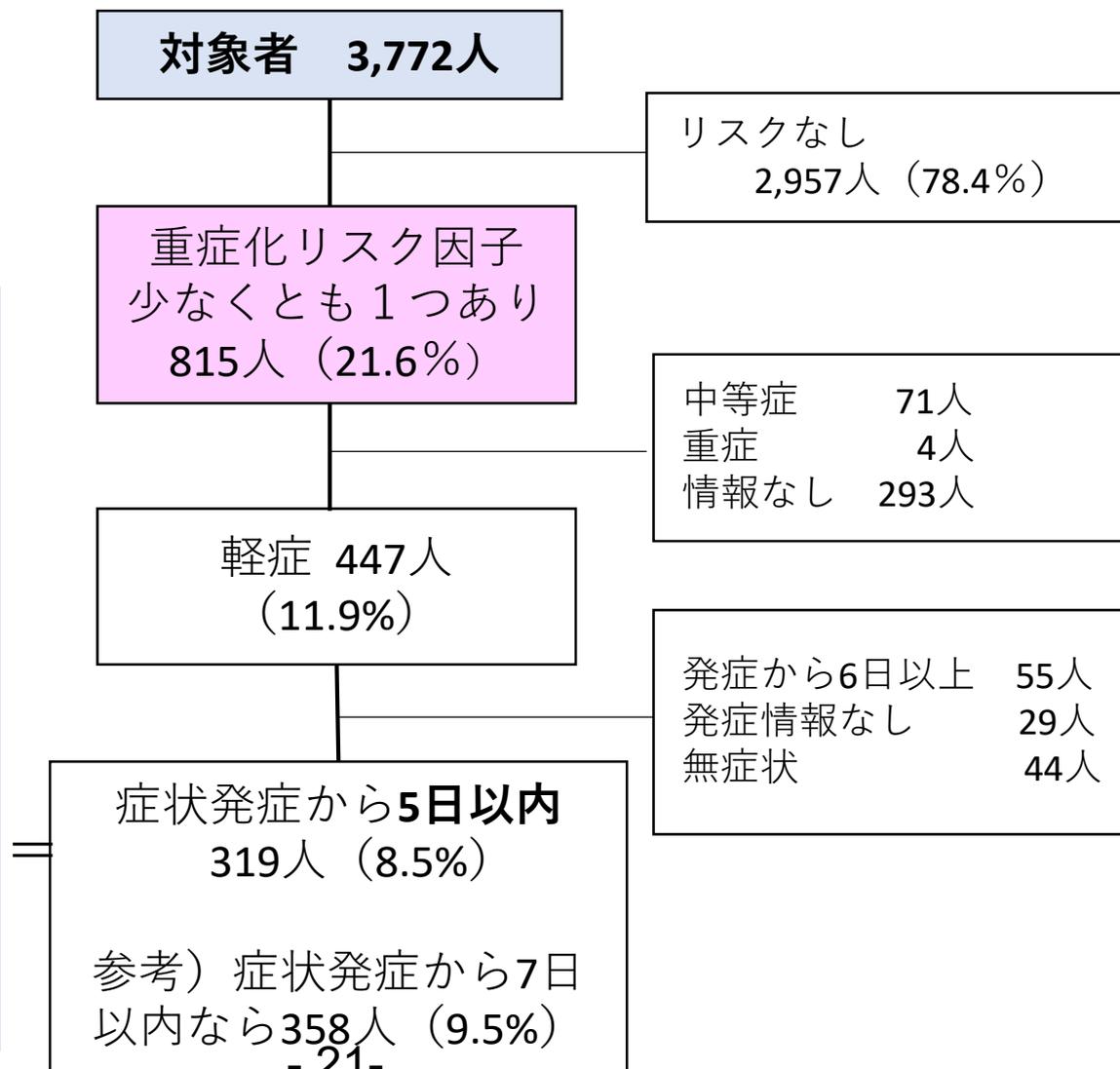
届出後迅速に治療を開始しないと実質的に対象者が減少する。

投与対象者

本人承諾や治療
手順等を考慮す
ると実務的に発
症後5日以内の届
け陽性者に投与
可能と推定

ロナプリーブ
投与対象者

319人 (8.5%)



迅速なロナプリーブ投与を促進するための条件

・発症早期の診断

治療の対象となるハイリスク者は、抗原定性検査の活用等により発症後速やかに検査診断を受ける。

→ハイリスク者への早期診断の促進

・投与医療機関の確保

届出患者の8%程度の陽性者に投与可能な病床または外来治療施設を地域医療機関と連携して確保する。

→地域単位での投与医療機関の確保

・診断からの早期の投与

診断確定後迅速に投与実施医療機関へ紹介する。

→病診連携等による早期実施体制の構築

・迅速な配給体制

投与実施医療機関からの要請に対して迅速に配給される。

→一定の医療機関在庫も認められており、安定した供給体制の推進

自宅療養者に対する抗体カクテル療法の実施に向けて

ロナプリーブ投与のフロー(案)

